

## 提言テーマ（案）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人の移動に制限があった中でテレワークやオンライン授業など、リモートサービスの活用・定着が進み始めている。そのような中、三宮再整備やこれに関連する事業のコンセプトも従来どおりでよいのか掘り下げて考える必要がある。こうした状況を踏まえ新型コロナウイルス感染症を契機としたまちづくりの方向性について以下のテーマで提言を行う。

### 感染症を契機としたまちづくりの方向性について

○データ・新技術等を活用したまちづくりの今後のあり方と新しい施策の方向性  
（項目例）

- ・データ・新技術等の活用に向けた取り組みのペースアップ
- ・市民主体のデータ・新技術等を活用した取り組みの推進
- ・データを活用した密度のコントロール機能の強化

○都市交通（ネットワーク）の今後のあり方と新しい政策の方向性  
（項目例）

- ・まちづくりと連携した持続可能な都市交通ネットワークの実現方策
- ・Maas、自動運転の普及に対応した交通結節点等のあり方
- ・適切な密度の空間確保方策等

○都市（オフィス等の機能や生活圏）の今後のあり方と新しい政策の方向性  
（項目例）

- ・今後の都市政策（都市の国際競争力強化、歩きやすいまちづくり）のあり方
- ・感染予防のための空間整備のあり方

### 持続可能な社会の構築について

（項目例）

- ・コロナ感染拡大防止と経済活動との両立
- ・気候変動に配慮し低炭素型の持続可能な開発目標（SDGs）達成への努力
- ・他部門連携、社会全体が協力するアプローチづくり